



カメレオンの舌は、どうしてのびるの

あごのV字形の骨にしかけが

カメレオンの舌は、あごの後ろの方にある、V字形の骨とつながっています。獲物が舌のどく範囲に入ってくると、このV字形の骨がすばやく前方へ動き、舌の先をぐいっと口の外までおし出します。すると、太いつつのように、短くおしこめられていた舌の先が、勢いよく飛び出します。このとき同時に、V字形の骨がさらに前へ動いて、舌が勢いよく飛び出すのをたすけます。

ある実験では、15センチメートルの舌をのばすのにかかった時間は、0.06秒、その舌を引っこめるのに0.25秒しかかからなかったそうです。

舌の先は、ねばねば、ざらざら

カメレオンの舌の先は、だ液でねばねばしています。さらに、舌の表面には細かい毛やひっかかりやすいとげのようなものがあり、ざらざらしています。そして、高速度でさつえいしたビデオを見ると、舌の先が、えさの虫に巻きついていることもわかりました。えさをとらえるときは、舌のこの3つのはたらきを使っているようです。

特製の目玉と舌でえさをとらえる

カメレオンの目は、左右別々に動かせるので、ちがった方向を同時に見ることができます。動きがにぶいカメレオンは、えさのこん虫を見つけると、舌のどく所まで近寄り、両方の目で虫を見て、虫までのきよりや方向をしっかりとたしかめます。その瞬間、もう、こん虫は、舌でとらえられて、カメレオンの口の中に入っています。（監修・今泉 忠明）

